

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 8日

事業所名 トーマスクラブ稲毛教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	②	職員の配置数は適切である	7			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4		手すりや滑り止めを設置している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	3		ミーティングを通して情報を共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			保護者会などから意見や要望を聞いている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	1	HPで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	1	外部評価を行っているかわからない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		契約時にアセスメントを行い、それを基に個別支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3		ケアカンの際にツールを使用していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		ミーティング時に立案していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		固定の時期があったので、飽きさせないプログラムを構築していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	1	ミーティング時の話し合いを強化していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		集団活動の回数を増やしていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	7			毎日朝礼やミーティングにて役割分担の確認を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		翌日の朝礼で振り返りを行っているが、忘れない様にメモをとるようする。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	3		活動内容によって記録を取り、グラフ化してご家族にお渡ししている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	6	1		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	5	2		基本活動を全員が同じ認識でもてるよ うにしていこう。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	6	1		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	5	2		お子様引取り時に、その日の様子など を聞いている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る				医療的ケアが必要なお子様はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	2	支援に繋がる情報は共有していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	4	2	1	要望があれば適切に提供していきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6	1		障害者基幹相談支援センターの意見 交換会には毎回出席している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	5	2		公園で遊んでいる他の子どもたちと一 緒に活動する時もある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	3	2	2	研修会などに積極的に参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	7			送迎時に保護者様と連携をとっている。
保	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	1	3	3	保護者様にも積極的に支援に参加して もらえるプログラムを構築していきたい。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5	2		契約時に説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2		電話や送迎時に助言を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	7			年に1回以上保護者会を開催している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		SNSにて発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意している	5	2		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	3	今後地域の方を招待するイベントを行っていきたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			毎年、研修や勉強会を行っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			年に2回以上避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			定期的に研修・勉強会を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			身体拘束を行う可能性があるお子様には、支援計画書に記載し、保護者様に説明をして同意書に記入をしてもらっている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		医師の指示書はないが、アセスメントでの情報を共有している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1		

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。